

鮭川村学校教育の指針
～ 「いのち」輝く 生きる力をもった 子どもの育成 ～

共に生きるための学びの推進を図り、「いのち」輝く 生きる力(人間力)の育成に努める

◎ 「生きる力」

(下線・太字は「英明果断」の人づくりとつながる重点)

- (1) 社会的・職業的に自立した人間として広い視野を持ち、理想を実現しようとする高い志や意欲を持って主体的に学びに向かい、必要な情報を判断し自ら知識を深めて個性や能力を伸ばし、人生を切り拓いていくことができる力
- (2) 対話や議論を通じて自分の考えを根拠とともに伝えるときも、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりを持って、多様な人々と協働したりしていくことができる力
- (3) 感性を豊かに働かせながらよりよい人生や社会の在り方を考え、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していくとともに新たな問題の発見・解決につなげていくことができる力

令和6年度 学校教育の重点

1 こころ

【こころ豊かな 子どもの育成】

心を育む 読書教育の推進

- (1) 言語を通して子どもの健やかな成長に資するため読書活動を推進する
(2) あらゆる機会を活用したり、場の設定をしたりしての読書習慣の形成を図る

2 まなび

【自ら学び 自ら考える 子どもの育成】

「根拠」を持って「論理的」に説明する力の育成

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」により資質・能力を育成する
(2) ICTの多様な活用により情報活用能力を育成する
(3) 家庭学習力の定着を推進する
(4) カリキュラム・マネジメントを実践する
(5) 探究型学習を意識した授業改善と基礎学力の定着を図る
(6) 生徒指導の4つの視点を生かした授業づくりを推進する

3 からだ

【健康で たくましい 子どもの育成】

小中一貫による 健全な生活リズムづくり

- (1) 児童生徒自らのメディアコントロール力を育成する
(2) 家庭と連携して基本的な生活習慣を育成する

4 ふるさと

【ふるさとに学び ふるさとを愛する 子どもの育成】

ふるさとを大切にする 学習の推進

- (1) 地域と関わる生活科・総合的な学習の時間を充実する
(2) 自然体験・伝統文化体験を取り入れた学習を推進する
(3) 持続可能な開発目標(SDGs)の視点から地域のよさや未来を探究する

～ 現行学習指導要領に準じた指導充実期～

- 英語力の向上 → 小学校：外国語活動・外国語科の充実(教科化)
中学校：話す力(対話的な言語活動)の重視
- 心の教育の充実 → 「特別の教科 道徳」の指導・評価の工夫(教科化)
- プログラミング教育の推進 → 小学校：慣れ親しむ体験活動の充実
- 生活・社会を支える情報技術教育の推進

こころ

こころ豊かな 子どもの育成

施策と重点内容	実践項目
<p>1 心を育む読書教育の推進 鮭川村子ども読書活動推進計画（第3次）2024～2028【5カ年計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 言語を通して子どもの健やかな成長に資するため読書活動を推進する。 ◎ あらゆる機会を活用したり、場を設定したりしての読書習慣の形成を図る。 （保小中連携しての推進活動） <p>2 心の教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「特別の教科 道徳」（道徳科）の指導と評価法を工夫する。 ◎ 「いのち」を大切に思う体験活動を推進する。 ◎ 個に応じた支援を推進し、集団での共生の心を育む。 <p>3 豊かな人間関係づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 集団の中で認め合う人間関係づくり・思いやりや助け合いの心を育成する活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな心づくりのための読書環境・体制の工夫 ・小中一貫の朝読書の充実 ・読書と学習活動の接続 ○保小中を通じた読書活動の習慣化 毎月第1金曜日は、ファミリーデーにして「家庭における読書デー」を一斉に（保・小・中） ○自分事として受け止め、考え、議論する道徳授業の実践と、その子のよさを見出す評価の実施 ○異学年での交流活動・いのちの講話（小・中） ○個に応じた合理的配慮・理解し支える集団づくり （特別支援教育の充実 個・集団） ○OSC・SSW と連携した教育相談・Q-Uアンケートの結果を生かした学級集団づくり ○学校行事での集団活動・あいさつ運動・ボランティア活動・花いっぱい運動・歌声の響く学校づくり

まなび

自ら学び 自ら考える 子どもの育成

施策と重点内容	実践項目
<p>1 「根拠を持って論理的に説明する力」の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「主体的・対話的で深い学び」により資質・能力を育成する。 ◎ ICTの多様な活用により情報活用能力を育成する。 ◎ 家庭学習力の定着を推進する。 ◎ カリキュラム・マネジメントを実践する。 ◎ 探究型学習を意識した授業改善を推進する。 ◎ 生徒指導の4つの視点を生かした授業づくり <p>2 外国語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 英語を使う場づくりの工夫を推進する。 「目的」「場面」「相手」を意識して ◎ 英語力向上への意欲を高める。 <p>3 保小中の切れ目ない特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 切れ目ない支援体制の推進と情報共有を図る。 ◎ 個に応じた学びの指導と支援をつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決に向けた学び合いの授業づくり（小・中） ○思考スキル・思考ツールでの対話的な授業づくり（中） ○ICTを多様に活用した授業・活動の充実 ICT教育の推進（小・中） ○家庭学習につなぐチャレンジタイムの定着（小・中） ○「つけたい力」からみた単元構成・計画の工夫（小） ○教科横断的な視点による計画的な学力向上（小・中） ○学校としての重点設定とチームとしての取組み推進 ○英語にふれる機会・使う機会を増やす場の設定 イングリッシュタイム（小） ○小中を通しての英検への挑戦【中3で3級5割目標】 ○英語コミュニケーション力活用の工夫 ○年中児健診から就学時健診までの教育支援の継続 ○推進委員会を核とし保小中・福祉・医療等関係機関が連携しての特別支援教育の充実 ○障がいに応じた効果的な指導の工夫、児童生徒の自立と将来の進路を意識した教育活動の推進

からだ

健康で たくましい 子どもの育成

施策と重点内容	実践項目
<p>1 小中一貫による健全な生活リズムづくり</p> <p>◎ 家庭と連携して基本的な生活習慣を育成する。 児童生徒自らのメディアコントロール力を育成する。</p> <p>【メディアコントロール力】 テレビ・ゲーム・動画・ネット・SNS等の視聴・使用時間・内容を適切に抑制できる力 「早寝・早起き・朝ゲーム」の展開</p> <p>2 基礎体力の向上に向けたスポーツの充実</p> <p>◎ 学校内外の体育行事での体力向上を推進する。 ◎ 基礎体力・運動技能の向上を推進する。</p> <p>3 安全教育の充実</p> <p>◎ 児童生徒の学校内外での安心・安全を確保する。 ◎ 特別な支援の必要な児童生徒の安心・安全な環境を充実する。</p>	<p>○児童生徒自らが判断し行動できる場の設定 ・チャレンジタイム・家庭学習と読書への意欲化 ・学習の見通しを持たせる計画表の作成</p> <p>○メディアについて学ぶ場や主体的判断の場の設定 メディア教育・SNS講話等・児童会生徒会活動</p> <p>○小中合同での生活リズム調査・アンケートの実施 生活実態把握による児童生徒・保護者の意識化</p> <p>○メディアコントロールの重要性・読書活動の意義について保小中保護者への啓発を推進</p> <p>○小中での体育授業・体育的活動の工夫充実、村内事業への参加で基礎体力の向上を図る</p> <p>○小体連・中体連に向けた練習での体力向上の推進</p> <p>○学校安全日の確実な実施 通学路の安全確認</p> <p>○命を守る安全学習・安全指導の徹底</p> <p>○主体的に安全を守るための危機管理能力（危険予測・回避能力）の育成</p> <p>○合理的配慮のある施設・設備・学校体制の充実 (特別支援教育の充実)</p>

ふるさと

ふるさとに学び ふるさとを愛する 子どもの育成

施策と重点内容	実践項目
<p>1 ふるさを大切に学習の推進</p> <p>◎ 地域と関わる生活科・総合的な学習の時間を充実する。 ◎ 自然体験・伝統文化体験を取り入れた学習を推進する。 ◎ 持続可能な開発目標（SDGs）の視点から地域のよさや未来を探究する。</p> <p>2 ふるさとのよさを実感する体験の重視</p> <p>◎ ふるさとに関わる食育教育を充実する。 ◎ ふるさとの食文化に触れる体験への参加。</p> <p>3 小中通じて育む「キャリア教育」の推進</p> <p>◎ ふるさとの未来を担う心を育成する。 ◎ 地元の職業のよさを体験する活動を推進する。 ◎ 自分の将来を考える多様な場を設定する。</p>	<p>○地域のよさを学び、発信する学習の展開</p> <p>○地域の実態を知り、課題解決を考える学習の推進</p> <p>○地域の一員としての伝統文化活動の体験と継承 「羽根沢節」(小3)「段の下田植え踊り」(小4) 「鮭川歌舞伎」(小5)「さけかわ清流太鼓」(小6)</p> <p>○持続可能な開発目標（SDGs）に視点を当て、村のよさや未来を探究（中学校）</p> <p>○地産地消給食（木の子の日給食）年2回 (鮭川の日給食)月2回（第2・4木）</p> <p>○さけまる栄養教室・鮭の新切り教室・きのこ王国まつり等での体験</p> <p>○地元の職業・仕事を知る体験活動の充実 ・わくわくワーク仕事体験会（中1・中2） ・地元の職業の体験・講話・職場体験学習（中3）</p> <p>○修学旅行での職場・企業訪問</p> <p>○小中連携した「キャリア・パスポート」の作成</p> <p>○道徳・外国語・英語・学級活動・集会等での発表活動</p>